



きりんぐみだより

8月

2018年8月1日 保土ヶ谷保育園

きりん組担任

最近の子どもたちの様子

今年は梅雨明けが早く、7月初旬から夏本番の様な暑さがやってきましたね。子どもたちもこの暑さには少々疲れ気味なのか、朝登園してくると「外に行こう！」と声を掛けてきていた姿から、「外に行く？」と声を掛けると「えーえ」と、乗り気じゃない姿へ変化して来ました。室内では、ペットボトルの蓋や折り紙、廃材など様々な道具や素材を利用して作ることに夢中になっている子どもたち！きりんの保育室にはいつも子どもたちが作った作品が並んでいます。まだまだ暑さが厳しい時期が続きます。水分補給をしっかりと行いながら清潔で健康な夏の過ごしかたを行って行きたいと思えます。

《スイカ割大会開催！》夏の果物って何がある？と質問した所、スイカ！と言う答えが一番多く出てきました。そこで、子どもたちに「スイカは果物じゃなくて、野菜なんだよ」「果物は木に出来る物だよ」と話をすると「知ってる」「えー知らなかった」と話をしながら流れはスイカ割大会の話へ……。スイカ割をみんなでやろうと思うんだけど、と提案すると全員一致で「やりたい」と返事がきました。そこでスイカ割に必要な物を揃えることになったのですが、子どもたちから出てきた物は、棒、目隠し……。そして最後にスイカ！一番大切なスイカが最後に出てきた事にちょっと笑ってしまいました。スイカが無いとスイカ割が出来ないので、スイカを購入できる場所を探すことになりました。「スイカ売っている所知ってる人！」と声を掛けると松原商店街、イオンなど様々な店の名前が出て来ました。話をした結果イオンに買いに行くことになりました。イオンの店内に入ると、スイカのある場所まで子どもたちが案内をしてくれました。

スイカ割当日・・・保育室内にブルーシートを敷くと、買ってきたスイカが登場！子どもたちのテンションは最高潮？楽しみがあるとよく話を聞くきりん組。一人ずつ目隠しをして棒を持ち3回回転！友だちの声がナビゲーションとなりスイカ目指して進みます。スイカに命中させる子も多く、全員終わるころには赤い果肉が顔を出しました。そこで最後は包丁で半分に割り、その場でみんなで食べました。大きなスイカだったのでお腹痛くならないかな・・・と思ってしまうくらい食べる子もいて楽しい時間を過ごすことが出来ました。

《夏本番！プール遊びが始まった》

今年は梅雨明けが早かったおかげで、7月初旬からプールに入れる日が多く、子どもたちは大喜びです。プールに入る為のおしり洗いやシャワーなど自分で出来るようになり、さすが年長！と言う姿をみせてくれています。プールの中では約束を毎回確認し安全に気を付けながら楽しい時間を過ごします。顔をつけたり、バタ足をするところから始まり、皆で力を合わせる必要がある流れるプール作りやビート版を使ったけのびなどを行い残った時間は子どもたちが好きなように遊んでいます。顔に水が掛かるのが嫌だ・・・と言っていた子もいつの間にか自分から水に向かって来たり、潜れるようになってたりとドキドキから楽しさに変化してきています。好きな遊びを行う時は、「先生投げて」とビート版を抱えてやって来たり浮き輪の中にすっぽり入って列を作っています。軽い筋トレになりますよ（笑）8月末までのプールシーズンを楽しんでいきたいと思えます。

《自分で炊いたご飯は美味しい！》

7月から当番が米を洗い炊飯器に入れて炊くことを行っています。この活動を始めて一番変化があったと感じるところがご飯を食べる量の変化です。一升炊いた白米が空になる事もしばしば……。米が美味しいのかおかずの減りも早いです。そして大人が明日の当番は・・・と言わなくても子どもたちが把握しており、楽しみにしていることが伺えます。

8月の保育

- ◆目的を持って、工夫したり試したりしながら夏の遊びを楽しむ。
- ◆植物や自然事象に触れ、興味や関心をもつ。
- ◆生活の中で身近な地域の行事などに興味や関心を持つ。

※8月は「そうめん流し」をきりん組で楽しむ予定にしています！

「食パンづくり」を行う予定にしています。そしてパン作りの経験を活かしてピザ作りへと楽しみを広げていく予定です。